

令和7年度 自己点検・自己評価結果

(福井県立看護専門学校)

令和8年6月

◆ 自己点検・自己評価の流れ

- ① 「看護師等養成所教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書の評価内容一覧を基本に、他校の自己点検表も参考にしながら、本校の8分野48項目の点検項目を決定。
- ② この点検項目について、全職員による評価を実施。
- ③ 点検項目は、それぞれ

S：優れている(4)、A：当てはまる(3)、B：やや当てはまる(2)、C：当てはまらない(1)

の4段階評価を行い、()内の数字を評価点として各大項目別、中項目別の平均点を算出。

- ④ この結果に基づき、点検・評価を実施。

◆ 自己点検・自己評価結果と課題

全体の平均点は3.0であった。平均に達していなかったのは、「教育課程経営」「研究研修活動」の2項目であった。

1. 優れていた評価項目は、以下のとおりであった。

◎ VII 卒業・就職・進学 評価点：3.4

⇒国家試験合格率は100%（6年連続）で、全国平均95.9%（新卒）を上回った。

進路状況は、卒業生34名中34名（100%）が医療機関に就職した。うち、県内が33名（97.1%）、県外が1名（2.9%）で県内就業率は高く県内の看護師確保に貢献できた。

中項目「地域社会」では、学生にボランティア情報を積極的に提供し、教育活動につなげている。ふくい桜マラソンでは1年生は給水ボランティア、2年生は救護班として活動し、知事より感謝状をいただいた。また、県立病院主催の防災訓練や東特別支援学校の学校祭にボランティアとして参加した。

2. 今後さらに取り組むべき評価項目は、以下のとおりであった。

◎ II 教育課程経営 評価点：2.9

⇒学修の到達度や学生の成長について教務会等で情報共有し、一貫した教育活動ができるよう努めている。卒業時の学修到達度や学生の成長について評価し、講義内容等の検討を継続していく。

臨地実習においては、定例の実習指導者会議を年数回開催し、実習施設と十分な連携を図り、教育理念にあった実習指導が行われるよう協働体制を整えていきたい。

◎ VIII 研究研修活動 評価点：2.8

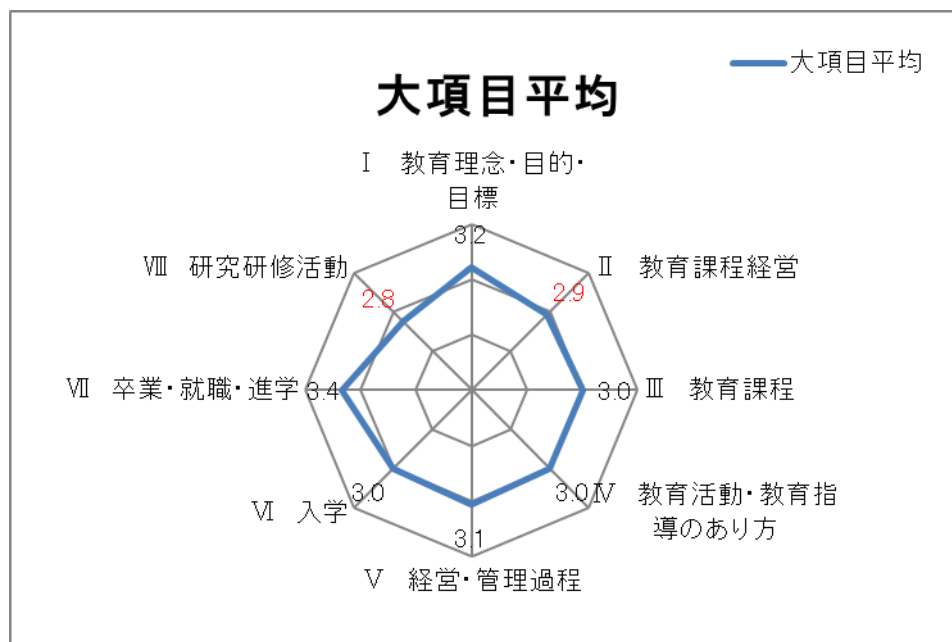
⇒日本看護学校協議会の第3回「私の学校自慢」に応募し、「感謝状」を受賞した。学会発表や専門誌への投稿には至らなかった。

3. 今後の課題

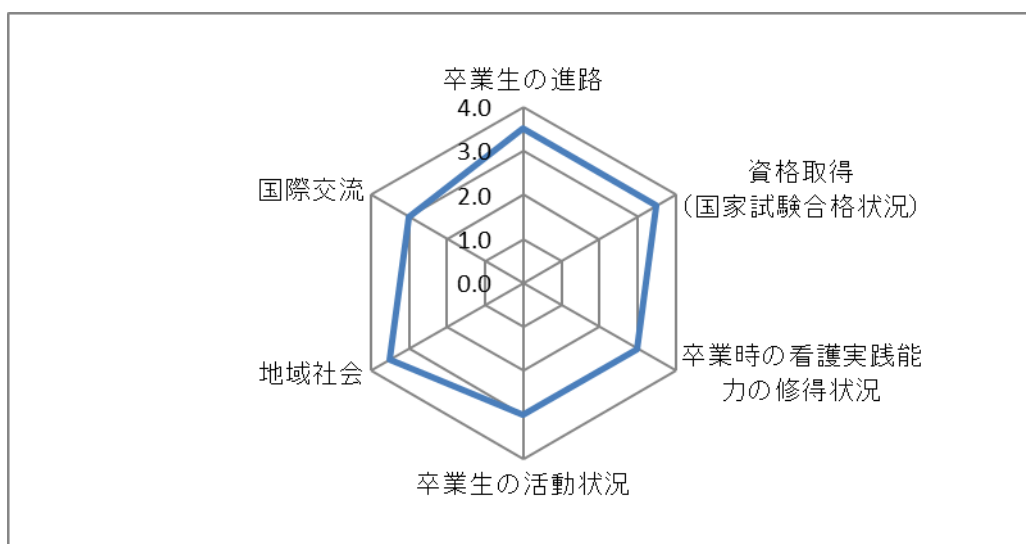
- ① 国家試験出題基準に沿った教授、社会情勢の変化・看護学発展の方向性に合わせたシラバス内容の評価と見直し
- ② テレワークを活用した教員の授業準備時間が確保できる体制整備
- ③ 実習病院・施設との協働による実習指導力の強化
- ④ SNSを活用したリアルタイムで魅力的な情報発信・入試広報の推進
- ⑤ ICT技術を活用し、学生個々に応じた1年次から取り組む国家試験対策
- ⑥ 学会等の積極的参加により教員の視野を広げ、研究活動につなげる

※ 大項目および評価項目ごとにその平均値を図にしたものは下記のとおり。

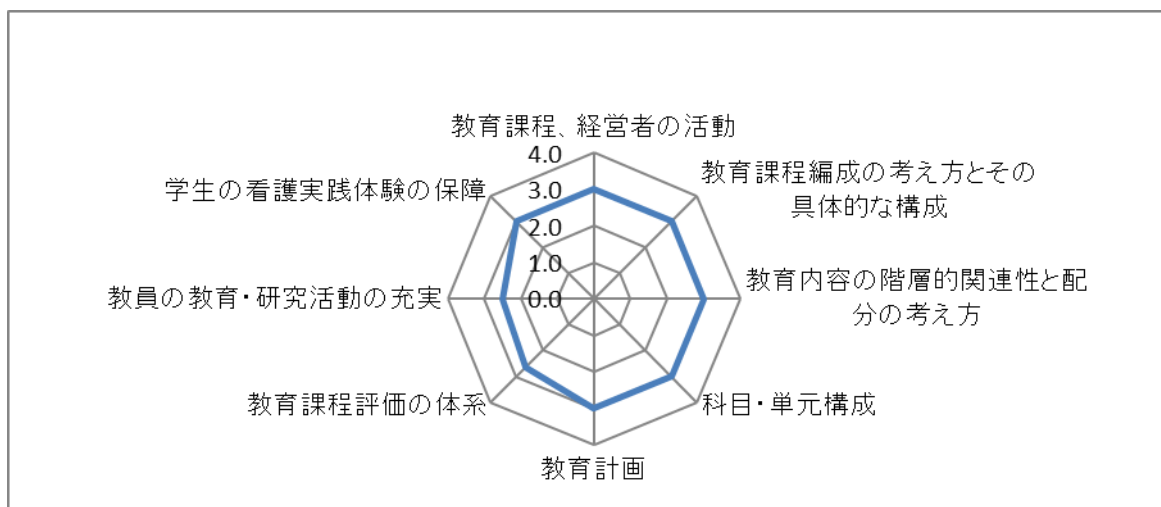
大項目平均



卒業・就職・進学



教育課程経営



研究研修活動

